

金沢市立金石中学校

【はじめに】

本校は金沢の西部、犀川河口に位置し、遠く南には白山、西には日本海、東に立山が一望できる位置にある。昭和22年に開校して、1万9千名を越える卒業生を送り出してきた歴史と伝統のある学校で、67年目となる今年度は、全校生徒395名、教職員は33名が在籍している。

海岸に近いという地域性から、海岸清掃や松の植林など子ども達自らの手で地域の環境を整え守ることが大切であり、また金石地区は港町で歴史があることから、地域の文化と深くかかわり、伝統文化を継承する取り組みが積極的に行われている。今後その伝統を守り受け継ぐとともに、良さを発信することが大切である。

今年度ユネスコスクールの認定を受け、環境や伝統、国際理解を主要テーマとして持続発展教育(ESD)の実践に取り組んでいる。



We are KANA I WA
「地域や自然を守る」 「伝統文化を受け継ぎ発信する」

1 ユネスコスクールとしての取組

(1) 環境教育

【花いっぱい運動】6月

今年度初めて花いっぱい運動に取り組んだ。科学部の生徒達が中心となって、校門前や玄関前に季節の花をたくさん植え育てた。この運動は、生徒たちの情操教育の一助となった。

【海岸清掃】7月

毎年7月28日「金沢児童生徒ボランティアの日」にリサイクル活動を行ってきた。今年度は地域の海岸清掃に全校生徒が参加し、地域に住む自分達だけでなく、生き物にとっても大切な海の美化の大切さを学んだ。



【生徒会・ボランティア委員会】年間

6月にPTA主催の資源回収に加え、毎月牛乳パックやアルミ缶収集を行い、障害者施設に寄付している。今年度は保護者にもメール送信で呼びかけたり、月ごとの収集量を張り出すなどの効果もあり、昨年以上に収集することができた。環境にとって大切なこの活動の意義を感じ、生徒達は声かけあって積極的に取り組んでいた。



【早朝清掃】7月・11月

今までは、一部の部活動の生徒による校内の公園清掃を行ってきたが、今年度からは学校代表の有志による早朝清掃が行われた。朝6時から1時間ほどの清掃活動であるが、地域の方々とともに自分達の住む町をきれいにする活動に参加して、地域の美化の大切さを感じていた。

【1年生による松の植林】3月

4年前から、金石町小学校3年生と共同で金石海岸付近の埋め立て地に松の苗の植林を行っている。小学生との交流活動を通して、地域の海岸保全のための活動が大切であると感じるようになった。

(2) 伝統文化を受け継ぐ取組

今年度も多くの生徒達が、悪魔祓いなどの伝統文化を受け継ぎ、夏に行われる大野湊神社夏祭りや地域の方々とともに活躍した。毎年この祭りを通して、伝統を大切に作る心が育まれている。

(3) 国際理解教育

【英語科・総合的な学習の時間の授業】

3年生の英語科の授業の中で、副読本の This is KANAZAWA を学習した後、「This is KANAIWA」と称して、金石についてのスピーチを行った。また、9月17日の中東教育行政コース学校訪問では、研修員10名（モロッコから5名、イエメンから5名）が来校した際、1年生と3年生が授業の中で、金沢や金石についてスピーチしたり、おりがみなどの日本文化も紹介した。また3年生の総合的な学習の時間の中では、イエメンとモロッコについて学ぶこともできた。



異文化理解だけでなく、自分たちの住んでいる町の歴史や文化について、他の国の人たちに発信する楽しさや重要性を感じた。

(4) 震災から学ぶ取組

【福島ひまわり里親プロジェクト】6月～

生徒会が中心となり、福島の復興のシンボルであるひまわりを世界・日本中に広げる活動に参加した。福島から届いたひまわりの種を校内に植え育てた。そのひまわりから採れた種を福島に送る活動である。この活動を全校生徒に広め、福島へ種を送る際には、生徒会から事務局へ、学んだことや自分たちができていることを考え実行していきたいこと、またこれから福島の積極的に交流していきたいことを、パワーポイントで書き表し、種とともに送付した。また、このプロジェクトを通して学んだことを、全校生徒にも呼びかけた。

【気仙沼市中学生代表者会議】8月・12月

8月20日に、本校生徒の代表者2名が気仙沼市中学生代表者会議に参加した。「生徒会活動の活性化を目指して～つながりを意識した活動の充実～」のテーマのもと、他校との学習会・交流会に参加し、生徒会活動の取組や課題等について意見交換した。本校の代表者は、環境問題に関する活動をしたことにより、自然の大切さ、環境への配慮、協力し合うことの大切さを学ぶことができたことと発表した。12月に金沢市中学生会議で、気仙沼市中学生代表者会議での取り組みを報告し、金石中学校憲章をもとにしたいじめ撲滅のための取り組みなど、課題を持ってこれからの生徒会を活性化することを報告した。

2 成果と課題

①ユネスコスクールのテーマを踏まえた児童生徒の変容や行動等について

それぞれの活動を通して、地域の自然や人々への関心や気づきが深まった。また、地域や金沢についての学習が、他の国の人々との交流の中で生かされ、自分たちの住んでいる地域の良さを再確認することができた。

②持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫等について

本校は、今年度からユネスコスクールに認定されたものの、今までの学習や活動の中で、持続発展教育カリキュラムに値するものが多かった。来年度はしっかりと系統立てて位置づけていきたい。

③他校への情報の発信、ネットワークづくりについて

掲示物や生徒議会、放送などを通して、全校生徒に発信することができた。また、中学生会議の中で、他校の生徒と交流し意見交換する中で、生徒会の課題も見えてきた。これからも他校とのつながりを深めていきたい。